板紙・段ボール新聞

日刊板紙段ボール新聞社
東京都文京区湯島4－6－11 A－509
TEL 03－5689－0121 FAX 03－5689－0120
http://www.itadan.com
Email: info@itadan.com
購読料 年間 27,000円（価格は税抜）

（昭和26年12月7日第三種郵便物認可）
毎月7日、21日、27日発行
第二七三〇号

ACS10周年

アジアNo.1目標に前進

3名で創業、500台を販売

魚本泰良社長に聞く

サンプルカッタメーカーのACS㈱（埼玉県川口市、魚本泰良社長）は今年、創業10周年を迎えた。社員3名からスタートした同社は10年で30名、販売台数500台に達し、「アジアNO・1のサンプルカッタメーカー」を目標に更なる拡大を目指す。設立から現在までの流れ、サンプル機の業界現況など魚本社長に聞いた。

―10年を振り返って、を設立した。

それにはまず、私の経歴を話しておきたい。1980年代半ば頃、マイクロコンピュータ（マイコン）が登場し、家電や産業機械に採用され「将来はこれだ」と思い、同分野を手掛ける機械メーカーに転職した。そこで、私も未経験だった営業に関わり徐々に売れるようになってきた。だが、売れたらそれはそれで別の問題がある。売れなければ支出は給料だけだが、売れたら資材などと仕入れコストが発生し、全額入金は既え付けてから3カ月後くらいになるので、資金繰りのリスクはそこで学んだ。プログラム大幅に上がる。ゼロから作る分野を手掛ける機械メーカーに転職してくれた代理店が手伝ってくれ、売れたらそれはそれで別の問題がある。売れなければ支出は給料だけだが、売れたら資材などと仕入れコストが発生し、全額入金は既え付けてから3カ月後くらいになるので、資金繰りのリスクはそこで学んだプログラム大幅に上がる。ゼロから作る分野を手掛ける機械メーカーに転職した。そこで、私も未経験だった営業に関わり徐々に売れるようになってきた。だが